

# ★神戸の催し物ご案内

6月

△音楽▽

★中村絃子

7日(火) 6時半 神戸国際会館

S・三〇〇円

A・一八〇〇円

B・一五〇〇円



★ナンシー・ウイルソン

8日(水) 6時半

神戸国際会館

民音／会員・二五〇〇円

一般・二八〇〇円

布野ゆき子ピアノリサイタル

8日(水) 6時半

県民小劇場

一〇〇円

★井上和世独唱会

23日(木) 6時

神戸文化ホール

ル一〇〇円

★コロ・ノーヴォ

24日(金) 7時

県民小劇場

八〇円

四〇〇円

★第11回神戸三大学交歓合唱演奏会

25日(土) 6時半

神戸文化ホール

ル四九九円

★チエリッシュ

27日(月) 6時半

神戸文化ホール

二三〇円

★市民映画劇場「フロントページ」

8日(水) 10日(金)

6時半

神戸文化ホール

ル四九九円

★創作浪曲「羅生門の盗賊たち」

21日(火) 6時半

神戸国際会館

民音／会員・二〇〇〇円

一般・二八〇〇円

△その他▽

★アルビン・エイリーダン舞踊団

24日(金) 7時

神戸文化ホール

ル五〇〇円

★アルビン・エイリーダン舞踊団

24日(金) 7時

神戸文化ホール

ル四九九円

★市民映画劇場「フロントページ」

26日(日) 10時

2時

神戸文化ホール

ル四九九円

★市立音楽堂

26日(日) 10時

2時

□人間模様（第十七回）

奔放にして理論好き／理学美容師

# 人間模様 門

## 月乃柱子

重森 守

（元朝日新聞神戸支局長）題字／望月美佐 写真／橋本英男

としごろの女性。——全頭脱毛、つまりツルツルになつた。眉や体毛まで脱け落ちてゆく……。

診断——原因は、姉に比べて不美人だと意識はじめた三歳のときにある。アゴが外れて以来、ひとり二割も顔が長くなつたのだ。そんな劣等感が、たまたま縁談がこわれたことで表面化し、脱毛症状を招いた……。

葺合の東端、県立近代美術館にほど近い「ピューティー・ドック」別名「理学美容研究所」——その女あるじ、いや理学美容師範のえらいオバサマのご診断である。

白を基調にしたクリーンな『診察室』らしいのが並んでいて、いかにもベッピンをつくる部屋という雰囲気。そんな身上相談みたいことまでおやりになるなんて……。で、どうやって原因をつきとめるんですか。

「ヒザを交えて、カウンセリングです。このときは親、家族も呼んで、延々七時間ですよ」

そのハゲ、ほんとに治りました?

「そりや、もう(当然のように)いろんな障害にはネ、そういうだけの神経的なひびみが必ずあるんですよ。私はそれをひき出すテクニックを心得てますからね、五年十年前からのメンタルなものを、話合いでつきとめる。すべてそつくり解明しておかないといつたんなおつても、また出てくるんですよ」

脱毛の女性には、足がきれいなこと、笑顔にとても魅力があることなどを教えて、まず精神的に明るくさせる

というご指導。

「理学美容ってのはネ、美しくあるための“心づくし”を相手に与えることなんです。そういう指導と、あとは実際ですね。二十キロや三十キロのぜい肉は、すぐ取つてあげられます。大事なのは、新しくせい肉をつけないようにお互いが協力しあつて徹底的に体質改善を考えいくことです」

ふくよかなお顔、こ肥りの貫録。よく通る高い声で、あとは立板に水――。

いわく、いまやつている経絡美容法は古く中国に発し儒学思想に基いていること。形而上の方向から美を考え、すべて宇宙の法則に従っていること、エステティック（理学）は審美眼であり、薬や指圧は全く使わずに美をつくっていること……。

WHO（世界保健機構）の姿勢まで粗末にのせて、論理的に、ダイナミックに、止どまるところなし。アノ、つまり、実際にはどうやってベッピンに仕立て上げるんですかねえ。

「経絡という考えに基づいて、まずハンドテクニック、それにエレクトロ（電気的な刺激）、肌に対しても化粧品、それらを縦横無尽に使うんですわ」

ハンドってのは、つまり指圧のことでしょうが……

「全然ちがいますね。痛さを感じさせたら美容じやない私のは、皮膚の表面から自律神経に柔かく刺激を与えて安定させるのです。そうすると皮膚はますます快感を強め、満足につながり、女性美を高めていく。なにしろ女性は全身に性感帯を持つてるのでしよう。そりやもう快感、快感、快感、ああ、気持がいいなあという積み重ねでリラックスしていただきながら美しさをつくるんですよ」

「同じこと、前にもいわれたけど、そんなんイヤヤ。気持ちわるいいうて断つてやつた（口調が少しずつ荒らつぽくなつて）私はネ、例えばハンドでも、ちゃんと理論を組み立てた上で基準つくつて、自分自身の皮膚で反応をみて、アレンジしながらコースを決めてるのよ。靈感や占いとは本質的に別のもの。理論の裏付けができる

大阪・河内育ち。若いころは演劇少女。なんと俳優だった。高校を出て「アカデミー」や「新春座」など大阪の小さな劇団を転々。あしへ劇場で足を上げたり、ドサ回りをしたり、大ホールで客演したり……。実は、私が脚本を担当していた連続TVドラマ「部長刑事」にも、チヨイ役で出たことがある。ホラ、これがそのときのスクール写真。ゆうべ、古いアルバムからはがしてきたんですよ。

「へえ（感慨深そうに、じっと見て）若いなあ。色気もあるやん。思い出したワ、これ、殺される役や。あの

こうみえても学術的、倫理的なんだ、と再三強調なさる。かと思えば一転して――

「女性のボディに触れてるときって、ものすごく幸せですねえ。長年の間に女性の肌をいとおしむ心が身についてしまつたんやろなあ。そりや、見事ですよ。さわり出したら五秒とたんうちに私の掌がまっ赤になつて、四十度ぐらいの熱をもつてくるんやから」



ころ、ちっともいい役つかへん。脇役で通してたなあ

そのころ太りだし、一時は体重六七キロ。和服の前身ごろが合わない。加えて、ひどい股ズレ。こうして、やせるために飛びこんだのが理学美容の先駆者K氏の許。そこで、ひと月のうちに五キロやせる、という体験をした。

運命的な出会い。二十年余りも前のことだ。

やがてK氏のアシスタントにと云われた。・役者稼業に見切りをつけかけていたときでもあり、『ソロバン』はじいたけど、なれば意地でこの世界に飛びこんだ。

「Kさんの内弟子に総スカンくつて、いびられたなあ。あのころの私、こましやくれて、見識ばっかり高うて、回りからみたら鼻もちならん子やつたんやろねえ」

どうして、逃げ出さなかつたのかなあ。

K氏の指導で、物理、化学の基礎から勉強をはじめた。壁にぶつかって、ぶつかって、ぶつかってばかり

という苦難の連続――。

「あのころは、こういう仕事、ほかになかったですやん

そやから、この道を進んだら自分がやつしたこと、歩いた

記録、つまり生きてきた証拠(後世に)そつくり残る思

うたんですよオ

おお、たくましき開拓者精神。そして、なんという自

己顯示欲。

「そら、役者やるような人間には、大なり小なり自己顯示

いうか、世間に自分を認めさせたい気持ちありますやん

すつくと立ち上がり、ちょっとポーズをつけて――

「バスト90、ウエスト67、ヒップ91。ちょっと太目やけ

ど、いまだにバスト落としてませんよ」

「そう。見事なもんですよ」

ムムツ。鼻先で『B90』が挑発的にユラユラ。  
「裸になつた方が細う見えますねん。私ネ、自分の裸み  
るの、大好き」

ナルシステムだなあ。そういうれば、結婚はまだ……



ABC部長刊事「遺書」から(34年2月放映)

右は国田栄弥、昔なつかしい桂子さんの演劇少女のころ。

頬堀に、  
大阪・道  
年一月、  
三十四

たつた四坪の第一号店オープン。数年後に拡張改装、四十七年には神戸の現在地へ進出して本拠をおき、同時に

ツェルンの繁盛ぶり、まさに日の出の勢いですな。

「いえいえ、年商一億二、三千万円てことかな。会員獲得。直営以外に十カ所に分室を設ける勢い。月乃コン(患者)は予約制で一日に多くても十二、三人ですからね。入会金から指導料までふくめて一件七万円ぐらいいます。私は大変やすいと思ってますがね」

そんなにお高くとまってないで、もつと薄利多売やらんのですか。

「やつと系統立つた統計ができたから、この秋に初めて目黒分室で“大衆化”するんですよ。ワンコース三万円ぐらいかな」

こちら、コンピューターまかせのオートメ商法とか。いよいよ立体経営ですな。

「本当のテーマはこれからですね。間もなく私も四十四歳、やつと円熟期ですからね。日本じや、ある程度の年齢にこないと社会的に信用されんどこがありますやん」

おお、女ざかりの円熟期。ご自身の美容については、悩みはおまへんのか。

「まあ、満足してるわけやないけど、こんなとこやないですか」

すつくと立ち上がり、ちょっとポーズをつけて――  
「バスト90、ウエスト67、ヒップ91。ちょっと太目やけ  
ど、いまだにバスト落としてませんよ」

「そう。見事なもんですよ」

ムムツ。鼻先で『B90』が挑発的にユラユラ。

「裸になつた方が細う見えますねん。私ネ、自分の裸み

「月に一回」なんてのは不自然ですものね。そんな女性はふとつたり、顔にシミみたいな小さいブツブツが出てくるんですよ」

こちらの視線に気づいたように――

「私はネ、仕事が成功した瞬間のゾクッとするような喜びをしばしば感じるので、あれが性の最終的な喜びのかわりになつてるんでしようね、ここ数年は……」

結構、結構。ま、信用しちゃましよう。

ところで、男性相手の美容法は、おやりにならないのでしょうか。

「それねえ、三年以内に着手する企画を立てています。

美容といつても、ぜい肉をとるぐらいでしようけど……」

その節は、どうか第一号会員にたのみます。このところ運動不足で、おなかの出具合が気になつてるんですよ。



「ハハハハハ、ま、ふつうの結婚は一度もしたことないですね。けど、バージンとは申しませんよ、いろいろ自由奔放に生きてきたんだから……」

こういうときこそ、『美しい』というべきかな。ご本人は別として、相手の男性が……。

「私みたいな体型ネ、色白で、肌<sup>き</sup>目こまかで、曲線が強くて、声のオクターブが高い。こういうタイプは割合に男を求める。受身ならついていくが、（男が）なくても何年でも平気。淡白なのが多いですね」

カラッとお手のものの分析をしてみせて「私も万博の年からずっとゴブサタなのよ」、ナヌツ、信じられない。美容のカウンセリングで、会員に性行為をすすめるケースはあるでしょう。

「羞恥心とか違和感でソレを避けてる女性にはネ、間違いだと指導してあげてます。二十代の後半にもなつて

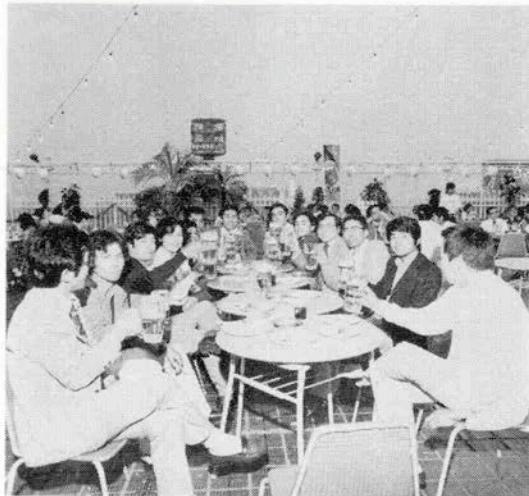
「ハハハハハ、ま、ふつうの結婚は一度もしたことないですね。けど、バージンとは申しませんよ、いろいろ自由奔放に生きてきたんだから……」

こういうときこそ、『美しい』というべきかな。ご本人は別として、相手の男性が……。

「それねえ、三年以内に着手する企画を立てています。美容といつても、ぜい肉をとるぐらいでしようけど……」

その節は、どうか第一号会員にたのみます。このところ運動不足で、おなかの出具合が気になつてるんですよ。

# 爽やかに夏を飲みほそう！



## スカイサントリー

三宮・交通センタービル

☎ 391-3705

国鉄、阪急、阪神の各三宮駅と直結しているためオフィス帰りや待ち合わせに便利である。月1回、アトラクションが予定されているが、普段は静かな雰囲気のなかで飲める。料理はレストランから直送だから定評がある。また、雨の日は9階のバブを利用するのもいい。期間9月10日まで。5PM~9PM（ただし6/14~8/14は9:30PMまで）



## オリエンタルホテル

オリエンタルホテル3階屋上庭園

大丸神戸店屋上・神戸新聞会館屋上

お問い合わせ、予約申込みは☎ 331-8111

ホテル料理をエンジョイし、トップレスが楽しめる魅惑の特別ショーが毎夕あり、神戸新聞会館店、大丸店ではギター伴奏にのって歌える。愉快に飲むには最高の雰囲気だ。オリエンタルホテル、新聞会館店は8/26まで（5:00PM~9:00PM）、大丸店は9/7まで（5:00PM~8:30PM、7/1~8/15は9:00PM）で、オリエンタルホテル店は日曜、大丸店は水曜定休。

# 夏本番！ビールのうまい季節です。



## NP ニューポートホテル

三宮フラワーロード

☎ 231-4171

【ビアーパーティご案内】屋上または各宴会場を利用の場合は、おつまみ料理盛合せ、ビール(大)1杯、ビール(中)またはウイスキー1杯で1人 3,000円(税・サ込)。また、樽詰め生ビール(19ℓ、30ℓ)を指定の会場まで出張サービスをしてくれる。【家族4人でのバックプラン】生ビール(大、中)各1杯、ジュースまたはコーラ2本、おつまみとお子様ランチ盛合せで 5,000円。期間は8月14日まで。5:00PM~9:00PM



[-] -ト- [-]

さんプラザビヤガーデン

☎ 391-9453

生ビールはニュートーキョーで！ 山と港が見渡せる景観は神戸ずいーで夜景は特に素晴らしい。毎夕バンド演奏が入り雰囲気を楽しく盛り上げてくれる。今年から女性に評判のいいピザがメニューに加わった。グループのときはおなじみの樽入りビールが徳用だ。期間は9月10日まで。5:00PM~9:30PM 期間中無休。



ゾウ大脱走！

動物園飼育日記 — 130 —  
亀井一成



アニマル事件シリーズ(2)



エレベーターの中、突然の停電に遭遇なさつたとお考え頂きたい。もちろん暗闇。しかも、たったひとりだった。はつとしたあと反射的に天井を見あげてしまう。たつたままでついていた蛍光灯にさそわれているのだ。そのあと手をだし、手当たり次第ボタンを押し、何とか扉が開かないか、右、左、ともうだめと解れど手探しを続けるだらう。

それは閉じこめられたという不安に対する反射行動でそこには人間以前の“鼻探し”という動物的本能行動らしきものがのぞけるのである。ライオン、トラ、ヒョウ、キツネ、タヌキ、イノシシ、クマたち、それにこの稿の主役ゾウなど。

とにかく新着当初、何れの動物たちもが、オリに入れ

はつとしたあと反射的に天井を見あげてしまう。たつたままでついていた蛍光灯にさそわれているのだ。そのあと手をだし、手当たり次第ボタンを押し、何とか扉が開かないか、右、左、ともうだめと解れど手探しを続けるだらう。

大切な鼻先に擦過傷。いや、ヒゲですらすり切れてしまふ。そこで、どんな大きな群の中であろうと、「あれまた新人が来ましたね。」といとも簡単。プロらしく「あの大頭新入だネ」と見破つて得意顔できるのも、そうした鼻探しによる“顔(ガン)”が残されているからである。

いやおはずかしい限りですが、こうした“鼻探し”で翌朝逃げ出し、オリの中はもぬけの空だったという事件。一度もございませんでしたなどとは云えない。

扉のカギが故障だったことから、鼻で押し、すき間に顔を入れようとするうち、ひょいとゆるんだ扉から、さつと抜け出した事故もあった。

ところが、初めての場所つまり環境のちがつた所ではせつから抜け出ても全力疾走など、意外やできないもの



▲やさしい目もと



▲巨大なおヒップ  
▼スラッと短い足



られたとたん、部屋中、隅から隅まで、「何處か抜け穴ないかいな。」係員の立ち去ったのを確めては、餌には目もくれない。みな、鼻先を漏らし“きき鼻”たてて、逃げ道を探り回るのである。

### 〔鼻先のガソ〕

それが、また、単身のときだけかと思えば、そうではありませんでした。さほど争いを見せないキツネ、タヌキ、イノシシ、クマなど10頭以上の群の中に入れてもやはり、仲間の方に行こうとはしない。わがひとりで辺りを鼻で探り回る。5周10周なら、いざ知らず、何百往復、疲れるまで探り回るものだから、当然のことあの

らしい。またぞろ、オリ辺りに、いや、やはり仲間のものに舞戻つてくることが多いのである。

### 〔鉄パイプをへし折つたゾウ〕

ある日。まちがいなくゾウ2頭、オスメスを室内に入れ、施錠も3回確認した。そのはずのオスゾウ一頭が、深夜、ガラス窓を、どうぬけたのであろうか一枚も割らずに4トンの巨体を運び出し、園内をウロウロ、散歩はじめたのだ。

もちろん宿直者もいたが動物舎との距離があつて気づかない。やはり、一気に駆けださないで日頃の隣組動物舎へ顔のぞがせ、またぞろメスが残っている部屋に戻る。と、またまた折返し遠くへ足を運ぶ。これ、事件後

の足取りで解ったことだが、モンキーホール、鳥舎、公衆便所、猛獣舎、売店、と、その行動範囲は、全て残っているメスゾウの視界内であったこと。なるほど、ゾウのリーダーは、やはりメスという恐妻家ぶりがのぞけたのも記録すべき脱出事故内容だった。

### 〔見破った欠陥パイプ〕

それでも、80ミリという太い鉄パイプで囲まれた室内にいるはずのゾウが、無傷、さらりと抜け出していることに、驚きと安全柵への信頼を失ってしまった。

もちろん、体を細め抜けるはずがない。どうはずしだのか正面右端一本を、確かにへし折り、大きく曲げられ、そこから出入したあとが生々しく残っていたのである。5トンの体重をぶちかまそうが絶対安全であると言う力学計算もしてあつたし、パイプ上下をコンクリート内部の鉄筋に溶接もされていた。

それなのに、床面のコンクリートが壊されパイプは上にそり曲った状態で、へし折られていたのだ。

あの太い鉄パイプの塗料ははげ、何時も、ピカツと光



もう大丈夫、レールフェンスで安心です

ついたこと、5トンという体重を常にかけ、背や尻をこすり回っていたからで、仔細に見ると、長い年月の間には、毎日こすりつける個所のパイプが少々やせていました。しかし、そこからは折れてはいなかつたのである。

飼育者にとって、動物の健康管理と同時に安全確認と

いう欠されない責務がある。そこで、施錠の確認と同時に飼育舎内部の鉄格子や扉回りの破損がないか、チェックすることも義務づけられている。

それでも昨日まで、このパイプに異常を認めることができなかつた。ガタガタとゆるみも発生していないなかつた／だが、しかし、折れているからには、何等かのゆるみが生じていたはずである。いや実は人間の我々には、その僅かなゆるみを知ることができなかつたのである。実はパイプ下部（床面）埋め込み部分が浅く、鉄筋との溶接も不充分だつた。いや、その上、探寸にあやまりがあつたのか、パイプに縫合めがあつたのである。

毎日のようにあのデカイ横腹や尻、それにキバを突きたて回る彼等。ふと、僅かなパイプの異常震動をキャッチしていたにちがいない。

その事故当時、確かに同じパイプ付近ばかりに体重をかけぶち当つていたオスを目撃していたのである。

もちろん、その部分だけの手直しだけではすまされない大チヨンボだつた。そこで市電のレールを載くことになつて、色々、痛々しい感じをするレールフェンスと相成つている。いや実のところ、レールの裏、つまり内面を動物側に向けてるので、さほどの痛さもなく、むしろ、背や腹をこすりつけるのに具合が良い。さらに強度はパイプの比でないこと。うまくやれば、無償払下げさえのぞめるということもほんとのこと。あちらこちらの動物園がこのレールフェンスを利用している。

えつと忘れていました。オスゾウ、ええかげん遊んだのち、抜け出た同じ窓を越え、同じ欠陥パイプの所から、無事、部屋に戻ってくれたのである。

△写真も筆者▽

# ★神戸の集いから

★ “花の心”求めて50年

「日本人の心は花を生ける心。自らが“花の心”になること」と、50年を迎えた新



多彩な人々が集った会場



第1回「燐の会」発表会

小倉敬一、坂井時忠、砂田重民、石井一、金井元彦、白川渥、荒尾親成さんら多彩な出席者が集った。

★16人の力作「燐の会」

4月7日から12日までさ

んちか広場で兵庫県女流い

けばな“燐”16人展が催さ

れた。三年前に発足したこ

の会は流派を超えて親睦

を計り、講習会を開いたり

実地の見学をしてお互いの

向上をはかるうというもの

第一回目とあってそれぞれ

16名が自由にスペースを使つて作品を発表。さすがに見応えのあるダイナミックな展示会だった。

北野町は異人館通りのギヤラリーキタノサーカス（北野町町4-45-1 2219294）で、帰国後、初の個展を河口龍夫さんが、5月14日より半月間開き、そのオーブニングに現代美術のユニークな人々が集つた。河口龍夫さんの帰国後初の個展に集まつた人々

★河口龍夫の“関係”

北野町は異人館通りのギヤラリーキタノサーカス（北野町町4-45-1 2219294）で、帰国後、初の個展を河口龍夫さんが、5月14日より半月間開き、そのオーブニングに現代美術のユニークな人々が集つた。河口龍夫さんの帰国後初の個展に集まつた人々

夫の“関係”的マクロとミクロの世界が語りかける空間構成は緊張感とユーモアが心よい。

赤根和生、ヨシダミノル、福岡道雄、村田慶之輔、吉田稔郎、今井祝雄、藤原向意、榎忠さんら100人近くが会場を埋めた。

★アラマンのりにのつて大いに唄う

神戸が生んだシンガーソングライター、新井満さんが“日曜日のアルファベットアベニュ”と題したコンサートを5月1日(日)ローズガーデンで開催した。

L.P.も発売した新井満さんは次々と神戸の歌を弾き語り、会場を埋め尽くした50名のファンと共に約二時間を満喫。午後6時からの演奏の後は神戸っ子主催のパーティも開かれ、食べて飲んで、ゲームをしての楽しいひとときを過した。

た。“関係”をテーマに、白いじゆうたんの上に鉛が土俵のような円を描いたり壁を伝つたり、小さなお多福豆状の鉛のふたを開ける

（秀未生流）亀島豊鶴（小原流）廣瀬輝月（温故流）福田宗桂（桂木生流）後藤佳風（虚心流）吉田多年（嵯峨御流）高井翠花（新日本華道）笛子静華（真生流）磯田春帆園（松月堂古流）桐野実甫（石水未生）

期を迎えた創始50周年の集いに、小原豊雲、肥原康甫

love, end, air etc. 河口龍

# 脳障害児の治療をさぐるやまびこ会

橋本 明 ▽家庭養護促進協会事務局長▽

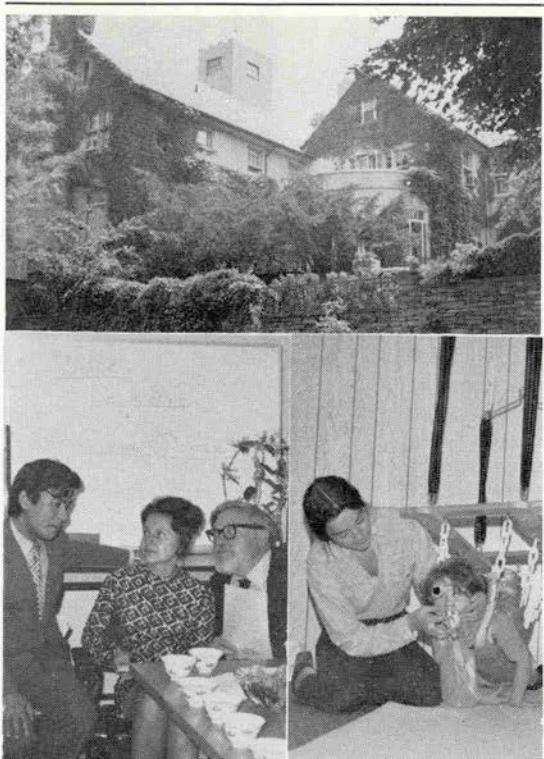
神戸に身障児をもつ親やその関係者が集まって治療や訓練のための情報交換の集いをもつようになって二年近くなる。この小さな集いは「やまびこ会」とよばれ、脳性マヒの子どもをもつお母さんたちや施設・教育関係者たちが三ヶ月に一度集まって身障児のためのよりよい訓練や将来の方向などを手さぐりでさがし求めている。

そもそもこの集いは、三宮で小児歯科を営む佐本進さんが昭和50年8月にフィラデルフィアにある人間能力開発研究所を訪問し、そこでグレン・ドーマン博士の画期的ともいえる脳障害の治療法を見学し、帰国後新聞にその見聞記を寄稿したところ、身障児をもつ家族や関係者から大きな反響があり、関心を寄せる人たちが翌9月に

集まって話合いの機会をもつたのがこの集いのはじまりである。

米国フィラデルフィア郊外の閑静な森の中にある人間能力開発研究所というのは脳障害の研究・治療・訓練機関で、スタッフはドーマン博士をはじめとして総数六十人余、患者は月に三十〜四十人で患者は年に二度、三ヶ月ごとに研究所を訪れ、約三ヶ月の訓練を受けて自宅に帰っていく。ここには米国各地からはもとより、世界各国の身障児をもつ親がはるばる遠くから治療を受けにやってくる。日本からもすでに数十人の患者がこの研究所の門をたたいている。こういう海外から治療を受けにやってくる人たちのために研究所の支部が世界各地に設けられており、初診時だけここで基本的な訓練を受けるとその後は各支部にスタッフが出向いてその後の指導をするところになつており、日本の窓口は東京にある日本の人間能力開発研究所(松沢要理事長)である。

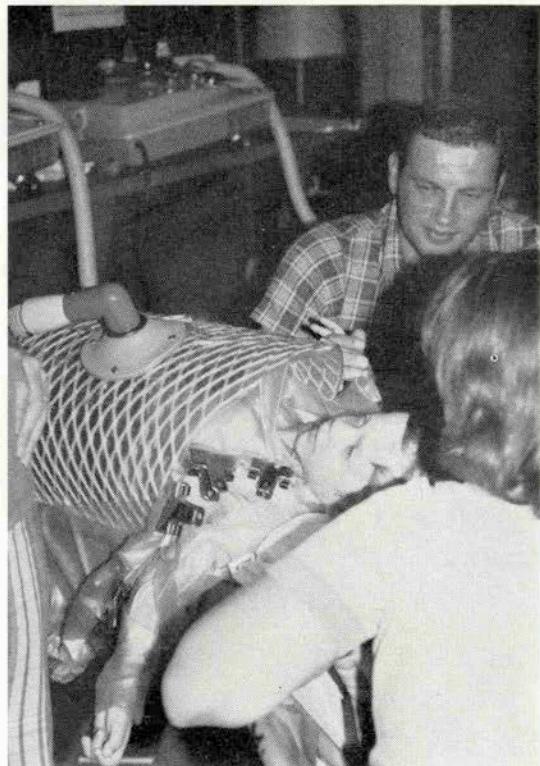
「絶望から希望へ、マヒから歩行へ、盲目から読書へ、オシから会話へ、治療の結果は全面的なこれらの成功から、ときには失敗も含む幅広い可能性の中です



上：人間能力開発研究所本部（フィラディルフィア）

下右：訓練風景

下左：Dr. グレン・ドーマン夫妻とともに、左・佐本さん<1972年神戸にて>



訓練風景

ら、治療を受けて良くなるものが、かなりの数に達している事実には驚くべきものがある。このドーマン博士たちの治療上の信念は、外科的手術を用いたり脳の障害に挑戦しようとする療法で、頭部や体や足の運動を行うが、これは単に腕や足の強化訓練ではなく、あくまで障害のある脳に本来あるべき機能を回復させるのが目的である。脳障害の原因が脳にある以上、脳そのものがもつ問題を解決できればマヒなどの症状も自然消失するであろう、というのが治療の基本的な考え方である。

トレーニングのプログラムは、まず人手に助けられて腕を、そして足を動かすことから始め、次に腹ばいが、更に四つんばいが出来るようになるまで何ヵ月もかけて厳しい訓練を受け、最後には歩くことを自ら学び覚えます……」（佐本さんの見聞記より）。

このような画期的な治療法に取り組んでいるグレン・ドーマン博士は昭和47年6月に来日し、神戸の国際会館で講演をしたり、垂水の横の木本学園を訪問したりしたこともあるので憶えておられる人もあるだろう。また彼の著書「親こそ最良の教師」（サイマル出版会）は身障児をもつ親をはじめ、医療・教育・福祉関係者の間で広く

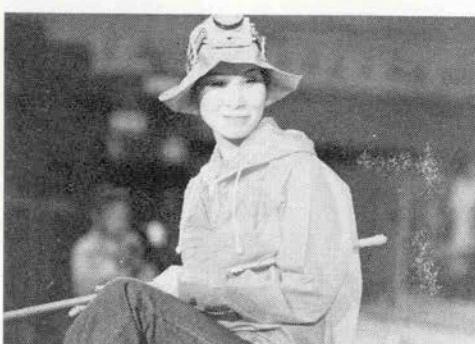
読まれているのでドーマン博士の名前は日本でもかなりよく知られるようになっている。

脳障害児の訓練法にはこのドーマン方式の他にボバーズ法、ボイターフ法などいくつか知られているが、訓練方法は違つても考え方には共通した部分も多く、それぞれのすぐれた点を学び、実践していくことができれば一番いいわけであり、そのための意見や情報の交換、体験の話合いなどを通して親睦を深め、できれば関西地域に脳障害児のための専門の治療・訓練センターをつくりたい——というのがこの集いの夢もある。

障害をもつた子どもの早期発見、早期治療、早期教育が大切だとは言わなながら、現実には早期発見ができたとしてもそのあとでの早期治療や教育・訓練となると、これが実際にほとんどできる体制が整っていない。障害児をもつ親はよりよい治療法をさがし求めるために子どもを抱えて次々と医者を訪ねて回り、遠くの施設や、あるいは海外までも足をのばし、労をいとわず東奔西走しているのが現実であり、身障児をもつ家族の経済的負担や精神的、肉体的疲労は並大抵のものではないはずである。佐本さんの新聞に載った短かい文章がいろいろな反響を呼んだのも単なるヒューマニズムに感動したからというよりも、現在の日本の身障児家庭の問題の多様さと深刻さ、それと国の施策を含めて今の福祉や医療の貧しさをよく物語っているといえる。

佐本さんの投じた一石が小さな輪をひろげつつあるが、今後何をどうしていくかはこれから摸索していくべき大変難しい課題であろう。△写真／佐本進さん撮影△

# Jeaning life イキイキ



営業時間 朝10時～夜7時  
神戸市生田区三宮町1丁目32番地 ☎ 078-321-2046代表

今、神戸に本物のライフスタイル革命が、起ころうとしています。あくまでも日常生活に密着した、生活バターン革命なのです。現代のせせこましい都会の生活の中で、余りにも周りがそうであるが故に、せめて自分達の生活くらいは飾り気のない素朴なものであつても良いのではないかでしょうか。何かしら、その「素朴さ」こそ本当の本物のような気がしてならないのです。

時、今年の3月初め。この「素朴さ＝本物」を、今一度神戸に再現しようと多くの人々が参画して作り上げたお店。三ノ宮センター街のド真中。それが革命の仕掛け人「ジョイント」なのです。多くの人々は、まずこの「ジョイント」を開く前に、「素朴さ＝本物」について話し合いました。そして当然のごとくそれは使い古された一本のジーンズに集約されたのです。「使い古された一本のジーンズ」。大袈裟じやあなくそれはそれを持つ人々の生活の鼓動を伝えて来ます。ジーニング・ライフの鼓動なのです。「素朴さ＝本物」を愛する人々のジーニング・ライフ・ツール（道具）は、一本のジーンズだけではなく、飾り気のないマグ、ケヤキの器、籠のカゴ、アルミの鍋、鉢植のグリーン・プランツ、朝晩のランニングのためのジョッキング・ショーツ、たまに都会を離れてバック・パック・ラング、エトセトラ。これらのツールがすべてこの「ジョイント」で揃つてしまふのです。一度おこし下さい。本物との対話の時間を作るためにも!!

（写真是全て5月14日の大倉山ファッショングルーバル「ビバ！ジーンズ」（ジョイント提供）より）

インドから、パキスタンから、

ペルーから、メキシコから、アラ

ガニスタンから、ペルシャから、

中国から、ギリシャから、フイリ

ツピンから、ボーランドから、そ

して世界中から、彼等の日常生活

をささえるツールが「ジョイント」

に結集しています。3Fの「FO  
LKLORE・BAZAR」のコ  
ナーがそれです。長い長い各民  
族の歴史の中で、育まれて来たこ  
れらのツールは、機能的にもすぐ  
れ、これまで「ジーニング・ラ  
イフ」にはかかせないものです。



ウエスト・コーストを流れる風。あ  
くまでも澄きったカルフォルニアの青  
い空。オレンジの林。ウェスト・コ  
ーストに学ぶ学生達は底抜けに明るい。

素晴らしい本物の環境があるからです。

UCLA, USC, USBの学生達は  
スポーツ好きで、そのスポーツウェアが、彼ら  
の日常生活と密着しているのです。



# knit life クスクス



いまファッショント語る時、必ず出るのが自由という言葉ですね。

自由な着こなし、自由な組合せ、自由な考え方——。

私も何時も心中で自由な時がほしい、自由にしたい、と叫んでいます。でも、もし、いまほんとうの自由をあなたにあげましょうといわれたら、こわくなるでしょう。何故なら、自由を手にすれば、孤独も背中合せに、くつづいてくるからです。だから、つくる人も、着る人も、口ではいつも自由にしたいといいながら、最後のところでは必ずセーブしている。

この最後の一寸したところへの心くばりがファッショントのきめてだと思います。

このところファッショントは人ととのふれあいだ、とか、生活のすべてだ、とか、いろいろいわれて、誰もが何となく、ファッショントいうものを分ってきたみたいだけれど。

着るものに関しては、COORDINATEという言葉が一般につかわれだしてから、何かつまらなくなつてきましたね。

つくる人の心がたのしければ、着る人にも心す分つてもらえると思うのだけど——。

いま、私がのっているテーマはジョーク。もう少しくわしく言えば、クールで、クスクスと一寸皮肉っぽいおかしさです。



バステルカラー 5対 0



# 神戸文学賞作品募集

小社は昨年創刊15周年記念として神戸文学賞および神戸女流文学賞を創設いたしました。有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動のいっそうの発展のために微力を尽したいと願っております。第一回神戸文学賞は田靡新「島之内ブルース」、同女流文学賞は小倉弘子「ベットの背景」に決まりました。ここに第二回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第であります。

## △募集要項

- 一、神戸文学賞は男性作品、神戸女流文学賞は女性作品とし、共に西日本在住者に限ります。
- 一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。
- 一、原稿枚数は四百字詰百枚前後。
- 一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度のあらすじをつけて下さい。
- 一、締切りは九月一五日（当日消印有効）
- 電話〇七八一三三一一二二四六
- ☆なお、選考は本誌が依頼した選考委員によつて行います。

主催／月刊神戸つ子